

Silica (シリカ)

Miki Matsumoto

ケイ素は地球の表面付近（地殻）にある元素の中で酸素（O）に次いで多い。シリカに陽イオンが結合したケイ酸塩は岩石の主成分で地殻の大部分を占めている。ケイ素自体は半金属で半導体であるが、自然界では単体（Si）で存在することはない。単体は工業的には集積回路（IC/LSI）のシリコンウェハーや太陽電池などに使われている。天然に存在するだけでなく人工のものもある。二酸化ケイ素が結晶してできた鉱物を石英（SiO₂）という。六角柱状のきれいな自形結晶をなすことが多い。中でも特に無色透明なものを水晶と呼び、古くは玻璃（はり）と呼ばれて珍重された。ガラスの主成分。植物はまっすぐに直立するためにケイ素を含んで茎を硬くする。

<周期表>

○第3ステージ：アイデンティティ、自己と他者の分離と確立、自意識

家族、人間関係、世話、愛、他人から見た自分の印象、コミュニケーション

○10列目：頂点、成功、高貴な

自分のアイデンティティの獲得に成功する、自分が何者であるか明確な自己イメージ（固定）

アイデンティティを確立しているが表現するスタミナがない

→自信がない →アイデンティティを保持するために固定化する

中心、輝く、正当化、上品、バランス、もろい、固定した

<マヤズム>

淋病マヤズム：過剰、増殖、隠す

<マテリアメディカ>

○身体症状

吸収不良による栄養障害

発汗：ツーンと鼻をつく悪臭、特に足

汗かきで、体が冷たい、爪が弱くて割れやすい。

≡ Psor.：寒さに敏感、汗をかき、爪が割れやすかったり白い点がある

ミネラルの吸収が弱く、骨・背骨・歯・爪に症状が出やすい（例）脊柱側湾症、脆い爪、虫歯など

便秘：便が硬い、直腸筋が活動していないかの様、便が一部排出された後再び引っ込む（はにかみ屋の便）

痩せていて隙間風や寒さに敏感

寒がりです頭を覆おうとする（≡Psor.：寒さや隙間風に敏感で、ベッドの中でも帽子を被ったりする）

化膿や膿瘍を生じやすい 栄養障害により化膿して傷跡が硬くなる、瘢痕状態、光沢があり輝く

腫瘍があると腫瘍が開いて分泌物が出てくる。膿の排出を加速する

非常に深く作用するので、膿瘍を開放する必要がある時に常に用いるのは危険である

異物が体内に入ってしまった時には排出する

毒素は汗を通じて排出されるので、汗は悪臭がする。ただし、全身の汗に悪臭があるわけではない。Psor. は全身のどこの汗でも悪臭がする。Sil. は足から出る汗が臭う。足の発汗を抑えるものを使用するのは危険。足裏の汗が臭うのは、毒素を腎臓から排泄できないから（by ヴィソルカス）

結核患者には注意する。Sil. が正しいレメディであれば大丈夫だけど、そうでない場合に使うと、Sil. で肺全体に感染が広がることがある。（≡Phos, Sulph. Hep-s.でも同じことが起こる可能性）。Sil. だという根拠がしっかりと確認された場合に処方されれば問題ない。

ケイ素は、体の中であらゆるものを硬化させる働きをする。弱い生体は色々なものを排泄できないといった性質を持つ。例えば、炎症を起こして化膿しても、膿を排出するパワーが欠けている。Sil. を与えて、パワーが出て膿瘍の口が開いて排膿していく。

<排膿三姉妹>

- ・膿が制限されずに出ている：Calc-s. ・膿は排出されているがまだ残っている：Sil.
- ・膿が排出されない：Hep-s.

○精神症状

従順、恥ずかしがり、臆病・小心、のんびり、優しい

硬さがある：頑固、固定観念・先入観

精神力不足、スタミナがない

感受性が高く洗練された人。そして不健康

自分の意見や信念を持つが、それを表現するスタミナがない、その考えを守る自信がない

喧嘩をしたくないので他人の意見を黙認する ←反論するスタミがない、自分のエゴを主張したくない
しかし、自分の意見を尊重されることを期待する

他人の意見に変えているのではなくて、自分の意見を保持して他人に同意する

完璧主義と潔癖さは、スタミナのなさ（弱さ）と自信のなさからくる（環境を制限することで弱点を補う）

人目を気にする ←明確な自己イメージ、自己イメージを守らなければならない

Sil. ステージに立つのが怖い Lyc. 人前で話すのが怖い

精神力不足で脳が疲労することがよくある。頭を使った後に脳が疲れるという。頭が疲れてしまうので、人前に出ていくことができない。しかし、精神力がついてくるとしっかりと対応できるようになる。できる能力はあるが、精神面での強さを持っていない。脊椎も十分な強さを持っていないので脊椎も疲れる。

洗練された人という表現が出てくるが、洗練された人が必ずしも健康とは言えない。単純な人ほど健康である。田畑で仕事をしてる人の方がより健康的な生活をしている。知的で都会に住み、洗練された食べ物（必ずしも健康的な食べ物とは限らない）や生活をしていると不健康になる。

Sil. は、洗練されていて健康ではない人である。

Sil. の子には、固有の弱さがある。窓から外で遊んでいる子を見ても、自分から加わろうとしない。皆の中に入っていけない。そういった弱さがある。本を読んだり、勉強して代償的に知性を蓄える。

引っ込み思案であるが孤立しない。孤独ではない。状況が許すなら、自由に自分自身について語ることができる。Phos. のように依存的でもない。

繊細で非常に上品、知的で理解力が鋭く、攻撃的ではない。古典的なSil. の子どもは、エリートで教育水準の高い家庭に見出される。注意を受けたことなどよく理解し覚えており、正確な行動を自分に課していく。非常に真面目できちんとして、優しい。

針やピンなど先が尖ったものが怖い。注射に対する恐怖がある。（≡ Spigelia.）

<感覚>

舌に髪がついているような感覚、棘の感覚

<モダリティ>

>温かく覆う、温かさ、夏、大量の排尿

<冷氣、隙間風、湿気、露出、足の発汗の抑圧、月の満ち欠け、過度の頭脳労働、触られる、ワクチン

＜補完レメディー＞

Calc. Fl-ac. Hep-s. Lyc. Phos. Puls. Sanic. Thuja.

＜ケース・ヴィソルカス資料より＞ 水頭症・生後7ヶ月

水頭症で腎障害のお子さん。足のリフレクソロジーをしていると、水頭症の水が排出されて心臓の血管に溜まるようになり、そこから胃にいった腎にいった。そこで、Sil. 1ドーズ与えたら腎臓の症状は起こらなくなった。